

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601218
事業所名	グループホーム しらゆり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	夏や冬の暑さ・寒さの厳しい季節には地域行事への参加が難しく、気候に良い時期を選んで外出し、利用者・職員が地域との交流を図っている。 地域の中学生15名が福祉体験学習に訪れ、にぎやかな一日となった。この中学生の福祉体験学習は長く継続して実施されている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に一度の運営推進会議が開催されており、ホームの運営状況や目標達成計画の進捗状況が報告され、出席者からの質問にも丁寧に答えている。 「外部評価の結果を知りたい」や、「目標達成計画(救急救命講習の開催)は、できるときに実施してほしい」等の意見が出ている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	各種の報告やおむつ代の請求等、毎月2回程度管理者が足しげく区役所の介護保険担当課を訪ね、担当者との連携を深めている。 生活保護受給者が12名入居しており、区・保護係との連携も強固である。保護係の担当者は、年間2回ほどのホーム訪問がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	生活保護受給者12名に関しては家族と疎遠になっているケースもあり、家族の意見・要望が収集できない利用者もいる。 運営推進会議には必ず家族の出席があり、「夏の暑さ対策」、「冬季のインフルエンザ」、「急な体調不良」、「災害時の安全確保」等、利用者の健康管理や安全策に関する質問が多く出されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	